



注文に時間がかかるカフェ

僕たちの挑戦



吃音をもつ4人の若者たち。ずっと叶えたかった夢に向かって一步踏み出す。

大木瑞稀 喜多龍之祐 過心杏 西川未空
主題歌：過心杏「1番好きで大嫌いな音」

製作・監督：奥村安莉沙 撮影：菊地洋 本平基（株式会社 fawn） 照明・美術：トビラ株式会社

主題歌作曲：秋田雄太 主題歌演奏：佐藤美佐子 主題歌収録：STUDIO SOLFA 音楽監修：勝裕あゆみ 出演：喜多あずさ

会場提供：東急株式会社の賃貸住宅「スタイリオ」 株式会社カリヨン・カンパニー 協賛：タナカヒロキ LEGO BIG MORL KITSU DEMSAN Good Morning サポーター



Contents



- 1 目次
- 2 Story
- 3 Cast
- 4 吃音とは
- 5 夢を叶えるカフェ
- 6 オフショット
- 7 僕たちの舞台裏①
- 8 僕たちの舞台裏②
- 9 映画主題歌
- 10 私たちの未来



Story

吃音を持つ4人の若者が、とあるカフェの扉をたたいた。

「注文に時間がかかるカフェ」は接客業に挑戦したくても一歩踏み出せない吃音の若者が1日だけカフェ店員になれる風変わりなカフェだった――。

最初は緊張しながらも、徐々に打ち解けていく若者たち。

オープン当日、4人の若者たちは力を合わせて夢を叶えることができるのか？

Cast

大木 瑞稀 Mizuki Oki

明るい性格で人と話すことが大好き。
しかし学校や職場では吃音による話しづらさの
悩みを人知れず抱えていた。
自分にはムリだと諦めていた「憧れの接客業」
に挑戦すべく注カフェに応募した。



喜多 龍之祐 Ryunosuke Kita

今回のカフェのリーダーをつとめるしっかり者。
吃音で悩み始めたころ、自分の母も同じ
吃音当事者であることを知らされる。
吃音の話で共感してもらえる同世代の若者と
話したいとずっと思っていた。

過 心杏 Konon Suguru

他のメンバーを優しく見守る良きサポート役。
1年前にカフェに参加し今回は2回目の参加。
幼い時に吃音で夢を諦めた経験を持つ。
再び夢を掴むため、あることに挑戦する。



西川 未空 Miku Nishikawa

世間に吃音を理解して欲しいと強く願っている。
言葉に詰まったときは周囲が苦手な単語を言う
ことで、また話し出すことができる。
2人で声を合わせるとスムーズに発話できる。
龍之祐君と2人コンビのナレーションに注目。

吃音とは

吃音を説明することは難しいです。

それは予期せず日々吃音の重さが変化すること、

環境によって症状の現れ方が異なる場合もあることも関係しています。

困難さやニーズも人によって異なり、年代によっても変化していきます。

注文に時間がかかるカフェのスタッフは全員吃音者です。
対応方法は人それぞれですが一般的なものを紹介します。

吃音（きつおん）は、話し言葉が滑らかに出ない
発話障害のひとつです。



遮ったり、推測して代わりに言ったり
せずに言い終わるまで待ってください。



緊張しているから吃っているわけでは
ないので、「リラックスして」「ゆっ
くり話せばいいよ」とアドバイスしな
いでください。



吃音でも一生懸命話しています。
話し方を真似したりからかわないで
ください。



言葉が上手く出ませんが、他の人と同じ
ように接してもらえると嬉しいです。

参考：国立障害者リハビリテーションセンター
言語療法士 Devin Fisher "How to Talk With a Person Who Stutters"

夢を叶える カフェ

注文に時間がかかるカフェは、接客業に挑戦したくても
一歩踏み出せない若者が1日だけカフェ店員に挑戦できるカフェ。
発起人が全国各地をまわって地元で集めた吃音の若者たちと開催しています。

特徴①吃音について説明する

注カフェには吃音を知らないお客様も来店します。
店頭ではスタッフが吃音について説明しています。
吃音について事前に知っておいてもらうことで、
気持ちよくコミュニケーションを取ることができます。



特徴②決まった台詞がない

注カフェを始めたころ、あるスタッフがいました。
「台詞が言えなくて、バイトを辞めてしまった。」
接客マニュアルに苦手な音があると、うまく発話
出来ないことがあるので自分の言葉で接客します。



特徴③自分のニーズをマスクに書く

人により症状や対応してほしいポイントは大きく
異なります。自分のニーズをお客様に知って
もらうために、マスクの頬部分に書いて
表現しています。





舞台裏

人生で初めて映画作りに挑戦することになった、吃音をもつ若者たち。
今回はそんな彼らに映画では観られなかった舞台裏を教えてください。

－映画をやるう、となった時はどうでしたか？

(大木 瑞稀、以下瑞稀) びっくりした。最初はなんか、こわいと思った。吃音について理解を広めるいい機会だと思ったけど、自分が吃っている姿を映像として見る機会がなかったので、(映画を観た人に) どう思われるんだろうって。

－実際に映画を観てどうだった？

(瑞稀) 自分の吃ってる姿をみて、ちょっと観るのが辛いなと思ったけど、自分以外の子が吃っているのは気にならなかった。だから観ている人は私の吃音も同じように気にならないのかなと気づくことができた。

－他のメンバーとのやりとりで印象的なことは？

(瑞稀) 私は吃音の人と会うのが今回が初めてだったけど、話してみると本当にそれぞれ違うなと思った。
吃音じゃない人は吃音のことを知らないと思っていたけど、私も知らなかったと。周りに「吃音は、こう」って決めつけられてると感じていたけど、自分も決めつけてた。
一方で「吃音あるある」みたいな話題では共感することもあった。

－映画を通して伝えたいことはありますか？

(瑞稀) 吃音について取り上げられると、変に気を遣われることがあるけど、私は普通に接してもらいたい。そう思っていることを伝えたい。

ー今回参加しようと思ったきっかけは？

(喜多 龍之祐、以下龍之祐) 同じ学校とかで吃音を持っている人はほとんどいなかった。だから今回参加することで同じような子と話せると思ったからです。(吃音を) 隠さずに出せる場面が本当になかったの。

ー実際に吃音の子と会ってみてどうだった？

(龍之祐) 普段、あんまり吃音の症状って吃音じゃない人に理解してもらえなくて。未空くんとか同じ吃音の子と話して「吃音あるある」の話とかで共感し合っただけ盛り上がったのが凄く嬉しかった。

ーどうして2人1組でナレーションを担当したの？

(龍之祐) ナレーションってやったことがなくて。僕はもともと決まってる文章を読むのが難しい。だから1人で文章を読んでいくのが心配だった。2人で声を合わせて言うと吃音が出づらいうから、未空さんと2人でならやってみようと思った。

ー映画撮影が終わってみて、どうだった？

(龍之祐) 映画を撮り終わったんだ！という喜びが大きかった。けど、3か月やってきたので今日で終わっちゃうんだなって寂しさも同時に感じた。

ー映画を通して伝えたいことは何ですか？

(龍之祐) 実際に映画製作を通して、自分たちと同じように吃音で悩んでいる人、当事者を支えようとしてくれている人と出会えた。吃音って狭いもの、悩んでいる人は少ないと思っていたけど、狭いものじゃない。1人で悩みこむ必要はないと思った。僕もずっと1人で悩んでた。同じ年代の子や、小さい子にも自分だけじゃないから、周りに相談してほしいと伝えたい。

映画主題歌

映画の主題歌を担当したのはメンバーの1人、過 心杏さん。
歌うことは好き、でも人前で披露したことも、曲を作るのも初めて。
そんな彼女が等身大の思いを乗せて主題歌を作りました。

「1番好きで大嫌いな音」

作詞：過 心杏 作曲：秋田雄太

毛玉だらけの親友にだけひっそり教えた夢
「頑張れ自分」 勇気貰える魔法の おまじない
いつか今が 過去になって 思い出す
その時には変わってたい
あの時置いてきた夢をもう一度持ってもいいかな？
1番好きで大嫌いな この音で 私が生きるための歌



毛玉だらけの親友にだけひっそり「諦めたよ」
「頑張れ自分」3回唱えても、もう効かないみたい
言葉の砂は上手く流れない 自分を叩いても流れなくて
あの時置いてきた夢をもう一度持ってもいいかな？
応援歌でもエールでもない 独りなのは1人じゃないと 伝えたい

あの時置いてきた夢をもう一度抱んで離さない
1番好きで大嫌いなこの音で 私が生きるための歌

私達の未来

この映画は、吃音があって自分の夢に一步踏み出すことができない若者達が集まって作ったドキュメンタリー映画です。

撮影も、ナレーションも主題歌も初めてのことばかりで、試行錯誤の連続。有名な俳優も、もちろん登場しません。

けれど、自分たちが夢に向かって一步踏み出す等身大の姿を記録することで同じように悩んでいる同年代の子達の背中を優しく押してあげたいという、その一心で製作に取り組みました。

「周りは普通に話せるのに、なんで自分だけ話せないんだろう。」
そう感じて1人で隠れて泣いたことも沢山ありました。
けれど、私たちは1人ではありません。

1人でも多くの方にそう思っただけの映画が作れたら幸せです。

注文に時間がかかるカフェ - 僕たちの挑戦 -
製作スタッフ一同

サポーター募集中

吃音の若者たちと共に「吃音」への無理解を変えたい！

吃音の若者たちがやりたいことを諦めない社会へ。
私たちの活動を応援していただけませんか？

good morning 吃音の若者

